

太宰府キャンパスネットワーク会議
令和6年度学生連絡会委員
福岡こども短期大学 こども教育学科 2年

いのき まな
居軒 舞奈さん



私は、進学を機に宮崎県から太宰府市に住むことになりました。しかし、その前に一度太宰府市を訪れたことがあります。中学3年の合格祈願での家族旅行です。その後、念願の高校へも合格し、福岡こども短期大学への入学も叶い、もう一度太宰府市を訪れることができました。

短大に入学してからは、学生連絡会委員となり、太宰府市について多くのことを知りました。特に、太宰府市のお祭りにボランティアとして参加した際には、人の温かさや明るさを感じました。たくさんの方の笑顔が溢れている場所であることを実感しました。

「太宰府市長と学生の意見交換会」では、太宰府市について真剣に意見を出しあい、市長さんは、学生の意見にもしっかりと耳を傾けてくださいました。この街には、太宰府市をより良くしたいと思う方たちがたくさんいることを実感しました。

学生生活も残り一年となりましたが、ボランティアなどを通して太宰府市に少しでも貢献していきたいと思っています。

特集

【表紙関連】

手と手をつないで…………… 4
7月は同和問題啓発強調月間…………… 5～7

令和6年6月
市議会市長提案理由説明…………… 8～9

市からのお知らせ … 10～13

連載…………… 14～24

なんでも情報コーナー…………… 25～31

太宰府の文化財…………… 32

市政ニュース

令和の都だざいふ「梅」プロジェクト



「梅の実収穫祭」を行いました

大宰府政庁跡で「梅」プロジェクトの始まりとなる梅の実収穫祭を5月15日(水)、福岡農業高等学校や連携企業の皆さんと行いました。本年は全国的に見ても梅の実の収穫量は多くありませんでしたが、真夏のような暑さの中、参加者はブルーシートや竹竿を使って取り残しがないように収穫しました。

同校の梅研究班は、平成21年から授業の一環として、太宰府市産の梅を使用した製品開発をしています。これまでにサイダーやポテトチップス、チョコレート、せんべい、漬けダレなど多くの製品が生まれました。今後も定番製品に加え、令和の都だざいふの新たな地場みやげとなる新製品開発を続ける「梅」プロジェクトに引き続き注目してください。



梅の実を収穫する参加者たち



収穫した梅の実